

# ECONOS CSR.SDGs REPORT 2023



## 株式会社 オガワエコノス

本 社 広島県府中市高木町502-10  
TEL.0570-002-998 FAX.0847-45-5872

本 山 工 場 広島県府中市本山町530-85  
TEL.0847-41-5804 FAX.0847-41-5809

鶺鴒 工 場 広島県府中市鶺鴒町800-113  
TEL.0847-47-6110 FAX.0847-47-6112

福 山 工 場 広島県福山市箕沖町106-3  
TEL.084-999-0530 FAX.084-999-0531

サーキュラー  
エコミー福山 広島県福山市箕沖町106-2  
TEL.084-959-5380 FAX.084-959-5383

岡 山 工 場 岡山県勝田郡勝央町太平台89-8  
TEL.0868-38-0530 FAX.0868-38-0531

仙 台 工 場 宮城県黒川郡大和町松坂平8-3-13  
TEL.022-796-5380 FAX.022-796-5381

東京営業所 東京都中央区京橋2-11-3服部ビル301号  
TEL.03-3563-0530 FAX.03-3563-0533



## グループ会社 有限会社ダイイチ企業

広島県広島市安佐北区白木町三田字小椿1521-3  
TEL.082-829-1270 FAX.082-829-1283



この紙は、国際的なNGOであるFSC®の責任ある森林管理や加工・流通の規格に則り認証された紙で、適切に管理されたFSC®認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料から作られています。

〈FSC®の森林認証制度について〉

環境、社会、経済分野の利害関係者の合意によって支持された、責任ある森林管理の原則と基準に基づく国際森林認証制度です。適切に管理された認証林やその他のリスクの低い由来からの原材料でつくられた製品をラベルで識別し、消費者はその製品を購入することで責任ある森林管理を支援することができます。



再生油を使用したインクで、大気環境への負荷を軽減。また生分解性が高いため、再生紙へのリサイクルがしやすく、土中でも分解しやすいことから、世界レベルで注目されている環境対応型インキです。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



株式会社 オガワエコノス



# 100年企業を目指して 『人的資本経営』でより良い会社に！

代表取締役 小川 勲



弊社は昨年で創業70周年を迎え、100年企業を目指して活動しております。偏にお客様や取引先様、地域・市民の皆様のご支援、ご理解があつてこそ、この大きな節目を迎えることができましたことを、深く感謝申し上げます。

一昨年は、ロシアのウクライナへの軍事侵攻をはじめ、なかなか終息しないコロナや安倍晋三首相の銃撃事件など、国際社会が人道的にも社会的にも“在り方”を大きく問われた1年だったように思います。広島においてはG7サミットも開催され、世界中の人々の平和で安全な暮らしが早く実現するように願うばかりです。

事業においては、広島県福山市に新しいプラントを竣工しております。新プラントでは、従来埋立処分されていた廃棄物のリサイクル高度化に向け、より一層『自然にやさしい、人にやさしい』会社の実現を目指して活動しております。

こうしたなか今年度は、経営方針である「三方よし」を基本原則として「地域や社会に役立つ人にやさしい仕事」「未来の環境保全につながる自然にやさしい仕事」ということを常に考え、今までも力を入れておりました「社員力の向上、スキルアップ」をより一層強化していくために、『人的資本経営』を活用し、従業員一人ひとりに対し教育などの投資を行うことにより、行動基準にも掲げているように「いい社員」が「いい仕事を」行い「いい会社」になっていくことで、地域やお客様のお役に立てるオガワエコノスになるよう取り組んでいきます。100年企業を目指して、これらも社員一同「三方よし」の精神をもって誠心誠意努力して参る所存です。

このCSR・SDGsレポートは、2022～2023年度の弊社の活動をまとめた報告書です。社会貢献活動は、弊社の業務の一つであるとの認識のもと、これからも多くのステークホルダーの皆様と共に活動の輪を広げていきたいと計画しております。

今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

**【参考】**  
人的資本（Human Capital）とは従業員のスキル、知識、ノウハウ、資質などに焦点を当てた概念です。これらは建物や設備などの有形資産と同様に、企業に利益をもたらす重要な無形資産であり、企業にとって投資する価値があるものと考えられます。

## 目次

会長ご挨拶	2
〈特集1〉サーキュラーエコノミー福山稼働開始	4
〈特集2〉70周年記念事業	6
企業理念・経営方針・行動基準・会社方針	8
SDGs行動宣言・重点取組項目	9
ECONOS人的資本経営	10
ECONOS SDGs 2030 VISION	12
1.コア・コンピタンスとしての環境保全事業の強化	
AQUA	14
LOHAS	16
RPF	18
2.地域と連携した環境教育活動の展開	
環境教育活動	20
3.働き方改革の促進	
一般事業主行動計画	22
Well Being	24
CSR Report	26
環境データ集	28
ダイイチ企業	32
歴史と概要	34





2023.3月29日  
稼働開始



# サーキュラーエコノミー福山

- 1 SDGs 貢献
- 2 埋立処分量削減
- 3 CO<sub>2</sub> 削減
- 4 作業効率改善



## 未利用資源を有効活用し、RPF製造を12万トンに倍増！

弊社は急速に高まる脱炭素社会に向けたニーズに対応するとともに、未利用資源の有効活用を強化します。そして石炭からRPF燃料への転換により、地球温暖化の主要因とされるCO<sub>2</sub>を削減できるなど環境負荷の低減に貢献します。「サーキュラーエコノミー福山」はリサイクルが難しいとされ焼却や埋立処分される廃プラスチック類から、高度な自動選別工程を経ることでRPF固形燃料（石炭代替燃料）を製造しています。国内最大級の処理能力を持ち、サーキュラーエコノミー福山のみでRPF生産量年間6万トンをまかない、弊社の年間生産規模は既存工場と合わせ約12万トンと倍増します。昨今のニーズに応えるべく資源循環への取り組みを強化、マテリアル/ケミカルを含めたプラスチックリサイクルの高度化を加速します。

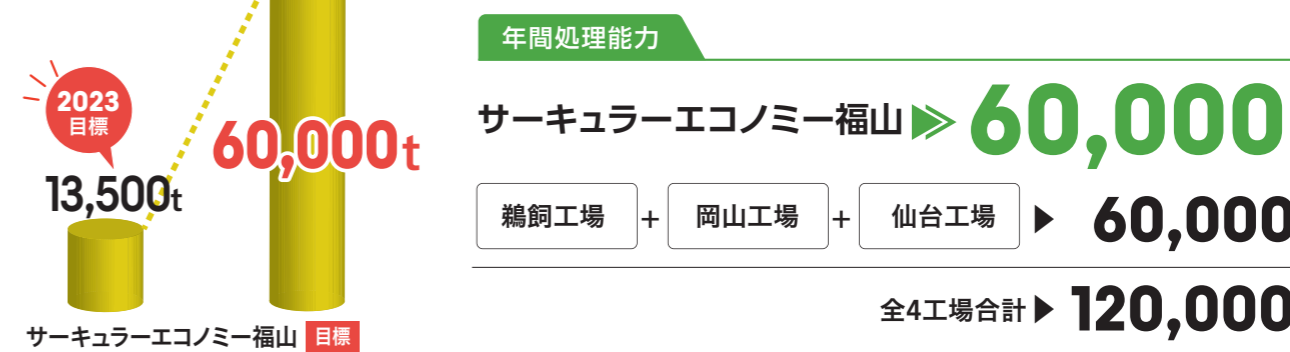
### 👉 サーキュラーエコノミー福山の目的

<p><b>目的 1</b></p> <p>埋立処分量を削減することで、埋立地の延命化</p> <p>手段・方法</p> <p>高度な自動選別機により、徹底した選別を行うことで、今まで埋立処分をしていた混合廃棄物からRPF原料を選別し、RPF固形燃料に活用できる。</p> <p>品質を分けることで、多種多様なバイオラーに合わせた燃料製造が可能になる。</p>	<p><b>目的 2</b></p> <p>二酸化炭素の排出量削減により地球温暖化を抑制</p> <p>手段・方法</p> <p>石炭に比べてCO<sub>2</sub>の排出量が2/3であるRPFの製造量を倍増し、従来の製紙工場を中心としたバイオマスボイラーだけでなく、他業種でも活用できる。</p> <p>工場の立地を生かし、海上輸送を行うことで、輸送中のCO<sub>2</sub>排出を抑制する。</p>	<p><b>目的 3</b></p> <p>DX 活用による工場内の作業効率改善</p> <p>手段・方法</p> <p>タブレットによる遠隔操作により、製造状況を手で確認でき、省人化が可能。</p> <p>光学自動選別機の導入で、人による選別と比べ、スピーディーに正確に選別し、RPF原料やケミカルリサイクル原料を確保しやすい。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



処理能力（24時間稼働）  
**5,000 t/月**

敷地面積：9,992 m<sup>2</sup>  
建屋面積：3,416 m<sup>2</sup>



#### RPF製造施設

プラ用破碎機：能力 **5.2t/h**

低カロリー品用破碎機：能力 **3.3t/h**

#### 混合廃棄物選別施設

### 高度な自動選別工程

光学選別機：能力 **5.9t/h**

バリオセパレータ：能力 **8.1t/h**





# 70<sup>th</sup> ANNIVERSARY

## 70周年 記念事業

2022年4月～2023年3月

### おかげさまで70周年 100年目指して踏み出す一歩

創業70年という節目を迎え、すべての人に感謝の思いをお伝えするために「おかげさまで70周年 100年目指して踏み出す一歩」をスローガンに記念事業を実施しました。

#### 70<sup>th</sup> 5市町へ災害用トイレ・テントセットを寄贈

創業当時から一般廃棄物関係でお世話になっている自治体へ70周年記念品「災害用トイレ・テントセット」4セットずつを寄贈しました。

ありがとう  
ございました



尾道市寄贈式



福山市寄贈式

避難所への設置だけでなく、山火事などの際に、消防士への中継地点のトイレとしても活用できます。

福山市枝廣市長



神石高原町寄贈式



府中市寄贈式



三次市寄贈式

#### 70<sup>th</sup> オガウェエコノス社旗

70周年のスローガンとロゴを制作。本社や工場に社旗として掲げました。



#### 70<sup>th</sup> 車両ステッカー

地域の皆さまが日頃から目にする収集車両や浄化槽点検車両にも記念ステッカーを掲示しました。



#### 70<sup>th</sup> 角2封筒、長3封筒、窓あき封筒、名刺

記念ロゴを用いた封筒、名刺を作成し期間中に使用しました。



#### 70<sup>th</sup> 70周年記念品

記念ロゴを配した記念品を作成し、感謝を込めてお客様や社員に配布しました。



サーモス製タンブラー

クリスタルクロック

#### 70<sup>th</sup> 70周年記念誌制作

創業からの歴史や経営者の思いを伝えるため、記念誌を作成しました。



オリジナルデザイン  
エコノスカー  
ボックスティッシュ



LA・PITA製エマージェンシーキット

#### 70周年記念プロジェクトメンバー

2021年4月に社内全事業所よりプロジェクトメンバーが集結し、記念事業の企画が始動しました。新型コロナウイルスの感染拡大中で制約がありながらも、メンバーと各部門の協力のおかげで企画したすべての記念事業を実施することができました。全ての皆様に心より御礼申し上げます。



相澤 直之 安達 哲嗣 大谷 澄子 沖田 浩毅 金田 昭弘 楠 由佳 能島 亜希 曳木 明広 堀 千奈美 山田 真規子





## 企業理念

地球環境を考えながら、足元の小さなことから始める  
それが、Think Globally, Act Locally

株式会社オガエコノスは、『Think Globally, Act Locally』を行動指針として、  
企業理念である『エコロジーをテーマに地域社会と地球の未来に貢献する  
「自然にやさしい」「人にやさしい」会社』を実現するべく積極的な活動を行います。

## 経営方針

- 1 「買い手よし」「売り手よし」「世間よし」の三方よしを基本原則として  
企業の社会的責任を果たして、お客様に満足から感動してもらえる会社・社員に成長しよう
- 2 “良い社員” “良い仕事” “良い会社” にするために “品質” “品格” を高めて  
世のため 人のため 社会のために役立つ
- 3 お客様目線で物事に対応・解決するためには、  
謙虚と感謝と学ぶ心をもって “社員力” を向上させよう

## 行動基準

- 「いい社員」…会社と仕事に誇りを持ち、仕事に喜びや楽しみを見出そう。
- 「いい仕事」…お客様に喜んでいただく為にはどうしたらいいか、考え行動しよう。
- 「いい会社」…地域や社会から、任せて安心オガエコノス、と言って頂ける会社になろう。

## 会社方針

# 2030 SDGsで変える

SDGsに取り組み 世のため 人のため 社会のために  
エコノスグループのプライドを持って考動しよう

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## オガエコノス SDGs 行動宣言

オガエコノスは“Think Globally, Act Locally”を掲げ、  
『自然と人にやさしい会社を実現する』という理念のもと、  
適正処理、高品質の事業活動と社会貢献活動を通じて、  
SDGsの達成に貢献し、地域社会とともに持続的に成長していくことを目指します。  
2020年1月1日 代表取締役 小川 勲

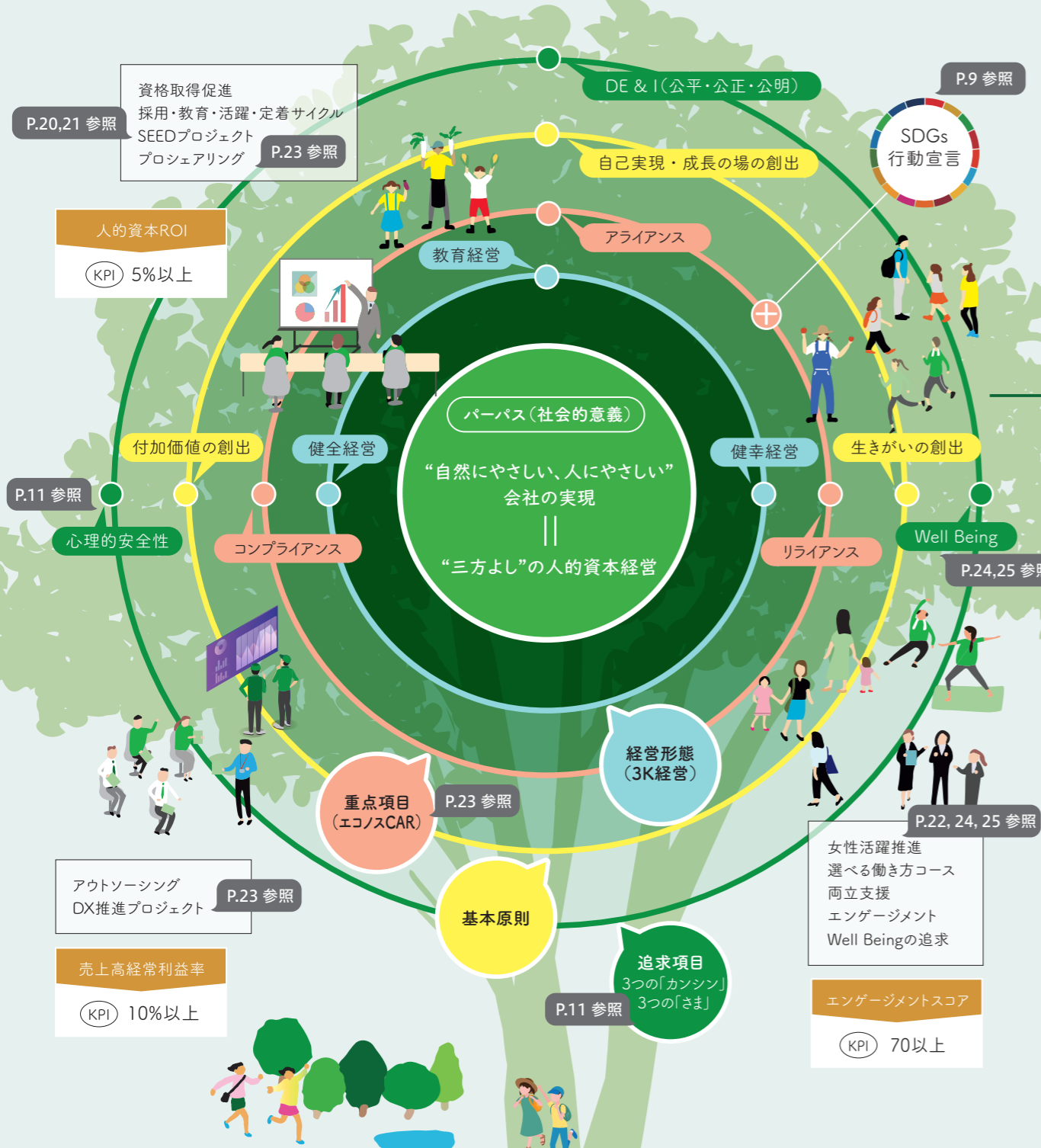
## 重点取組項目

1	コア・コンピタンスとしての 環境保全事業の強化	①RPF（石炭代替燃料）製造による環境配慮型非化石エネルギー利用の促進、②適正処理によるリサイクル率の向上、③水環境を維持し、河川海洋の汚染防止を事業として、地域の環境保全活動を積極的に行います。
2	地域と連携した 環境教育活動の展開	地域・行政・学校等との連携により、『見る、する、考える』環境教育活動（エコノス SEED プロジェクト）を展開し、『地域や地球の環境保全を推進する人財』の育成を通して、継続的に社会貢献活動に取り組みます。
3	働き方改革の促進	働き方改革を進め、①コンプライアンス整備によるガバナンスの構築、②アライアンス強化による働きやすい職場環境づくり、③社員がアライアンスを背景に自己実現や社会貢献を通して『いきがい』を持ち、社会から信頼される『いい会社』へ成長していくことを目指します。

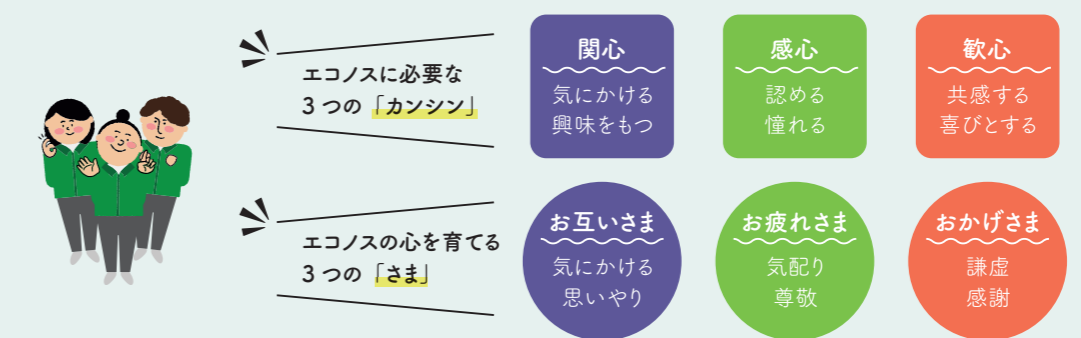
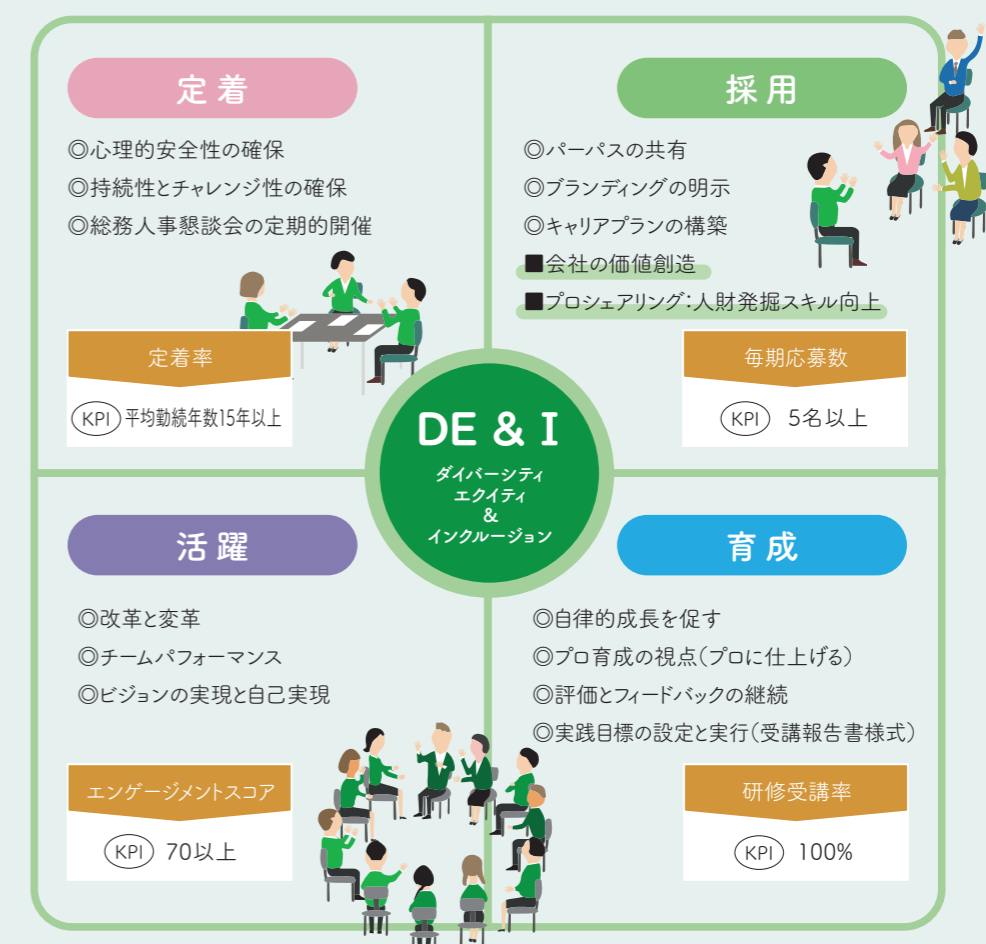




ECONOS 人的資本経営サマリー (概要)



人的資本投資の高度化への取り組み



※人的資本経営とは、人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方です。  
 ※DE & I「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン」とは、多様な人が働く組織の中で、それぞれの人に合った対応をすることで、それぞれがいきいきと働き、成果を出し続けるための考え方とされています。  
 ※エンゲージメントとは、「職場(企業・団体)と従業員の関係性」や「自社と顧客との関係性」を表す際に用いられます。

※PERMA(パーマ)の法則…Well Beingを高めるための5つの法則





1 コア・コンピタンスとしての環境保全事業の強化

AQUA

浄化槽排水・下水処理場放水基準値を守り、水環境をかえる。

芦田川上戸手のBODを1.0mg/Lにする。

LOHAS

適正処理によるリサイクル率を100%にする。

埋立処分量を300t以下にする。  
(ディズニーランド600個分の森林を守る。)

RPF

RPF（石炭代替燃料）等製造による  
環境配慮型非化石エネルギー利用を促進する。

リサイクルエネルギー生産量250,000t/年にする。  
(広島県全124万世帯の約半年分の電力170万MWhにする。)

2 地域と連携した環境教育活動の展開

環境教育

地域・行政・学校等との連携により、『見る、する、考える』  
環境教育活動（エコノスSEEDプロジェクト）を展開し、  
『地域や地球の環境保全を推進する人財』の育成に取り組む。

海外で出前授業を行う。

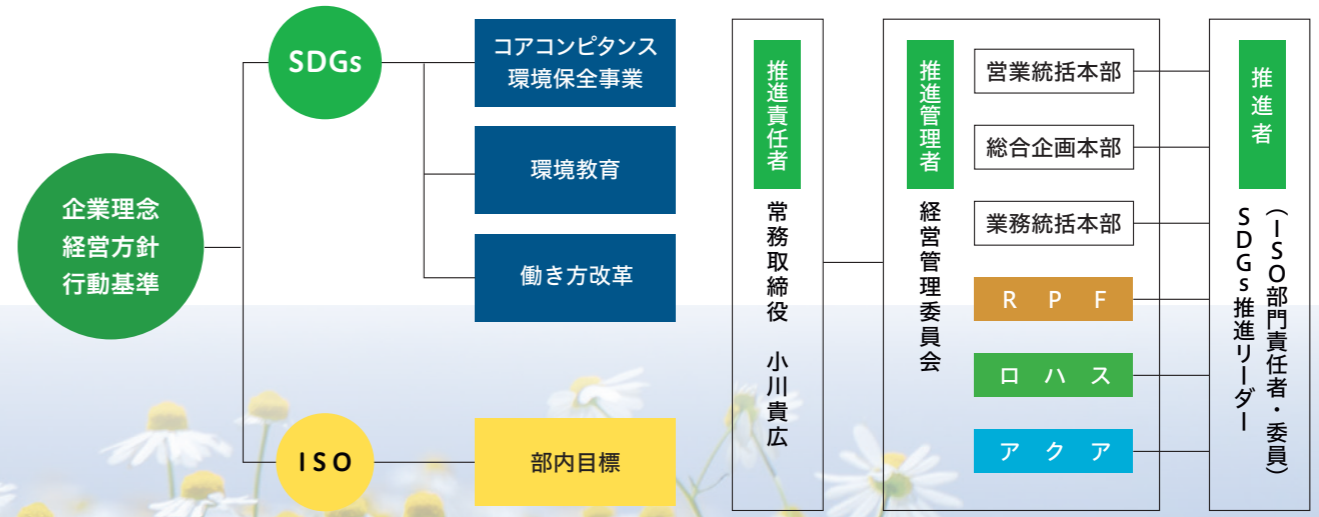
3 働き方改革の促進

働き方改革

コンプライアンス整備によるガバナンスの構築をする。  
アライアンス強化による働きやすい職場環境づくりをする。  
社員がリライアンスを背景に自己実現や社会貢献をする。

社員が『いきがい』を持ち、  
社会から信頼される『いい会社』へ成長していく。

SDGs 推進体制



2022(年度)実績		2021	2022	2030 目標値	単位
AQUA	BOD(芦田川水系)	1.2	<b>1.0</b>	<b>1.0</b>	mg/L
LOHAS	埋め立て処分量	1,799	<b>1,480</b>	<b>300</b>	t
	リサイクル率(本山工場)粗大・資源・家電	87.1	<b>93.4</b>	<b>100</b>	%
RPF	フラフ(ダイイチ企業)	9,370	<b>11,269</b>	<b>19,000</b>	t
	木質チップ(エコノス岡山)	2,624	<b>2,570</b>	<b>3,000</b>	t
	木質チップ(ダイイチ企業)	7,857	<b>8,000</b>	<b>12,000</b>	t
	RPF生産取扱量	53,068	<b>58,311</b>	<b>216,000</b>	t





2030 までの目標

AQUA

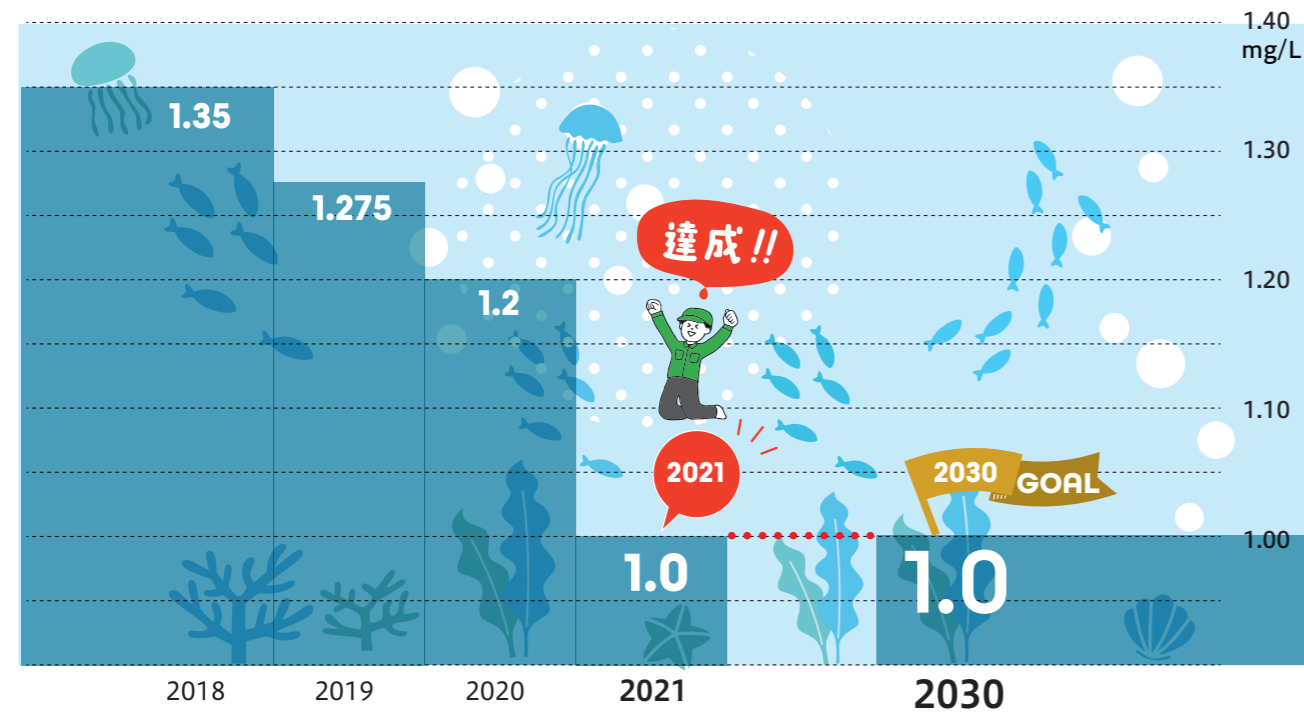


# 一級河川 芦田川の水質を改善する

浄化槽排水・下水処理場放水基準値を守り、水環境をかえることで、芦田川上戸手のBODを1.0mg/Lにします。

浄化槽管理 下水道施設管理 くみとり アメニティ事業

※ BOD…生物が水中にある有機物を分解するのに必要とする酸素の量 (mg/L) を表しています。河川の汚染度が進むほど、この値は高くなります。



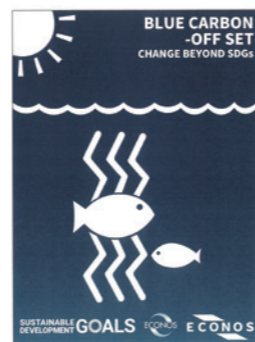
2022年度実績  
**0.4t オフセット**



バキュームカーの排気ガスの一部

ブルーカーボン・オフセット

アマモやワカメなどの海藻は、成長する過程でCO<sub>2</sub>を吸収します。ブルーカーボン・オフセットとは、CO<sub>2</sub>排出量削減の手法の一つとして、海洋の保全活動により海藻等がCO<sub>2</sub>を吸収・固定した効果（カーボンクレジット）を、オフセット実施者（企業など）が買い取り、排出したCO<sub>2</sub>と相殺することです。

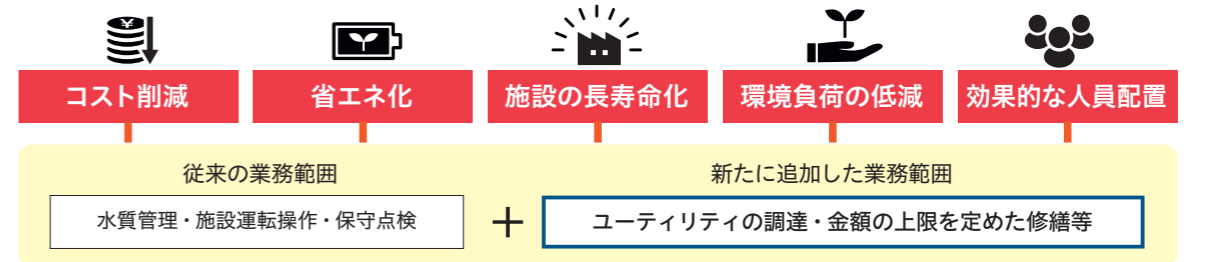


## 包括的民間委託方式による受託でSDGsに貢献!

包括的民間委託方式による尾道市御調町中央浄化センターほか  
汚水処理施設等包括的維持管理業務を受託

地方公共団体では、下水道事業の運営について、施設の老朽化や人員不足・予算等の様々な課題を有しています。それらに対応するための有効な手段の一つとして、民間の実施体制及び創意工夫を活かし、効率化・質の向上を期待できる包括的民間委託方式が採用されています。弊社でも、今年度から従来の維持管理業務に加え業務範囲を拡大した包括的民間委託を受託し業務を行っています。

包括的民間委託方式によるメリット



### 遠隔監視システムの導入で情報管理

包括的民間委託では、運転管理業務（水質管理業務、エネルギー管理業務）、保全管理業務等の性能発注の業務に対し、受託者が満たすべき要求水準を設定されています。保全管理業務は、保守点検業務により、施設・設備の状態を確認し、異常を発見した場合には、対象業務範囲における修繕を行い、対象施設の機能を維持することを要求事項として求められています。このことから膨大な情報を体系的かつ時系列的に管理するためには、遠隔監視システム（データベースシステム）の構築・活用が重要となります。

遠隔監視システム導入の効果







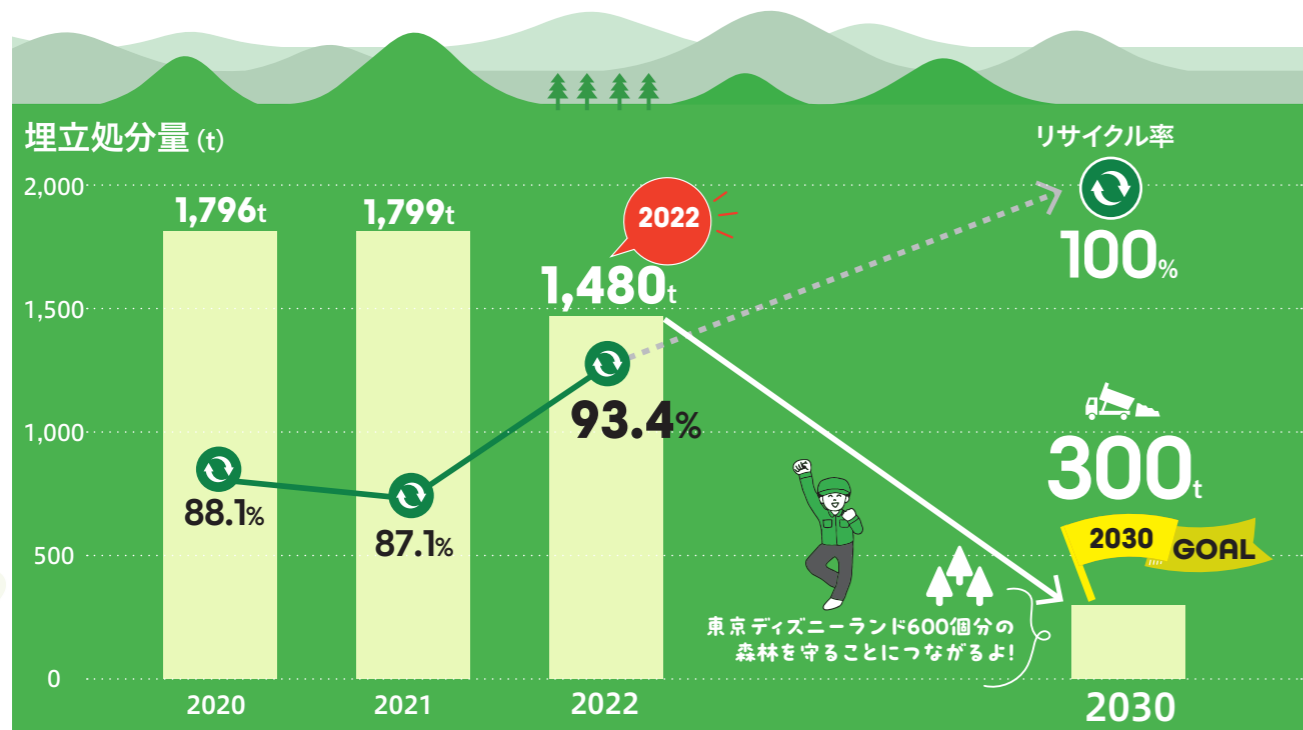
2030 までの目標

# LOHAS



## リサイクル率を100%に近づけ、埋立処分量を300t以下にする

中間処理・リサイクル事業



2022年度実績  
**10t オフセット**

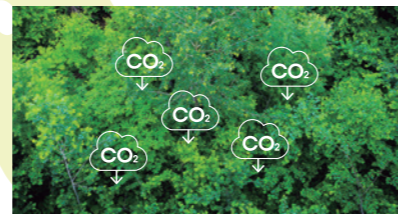


パッカー車の排気ガスの一部

広島県有林における間伐促進プロジェクトによる「芸北水源の森」の森林が吸収した二酸化炭素10トン分により、カーボン・オフセットを行いました。

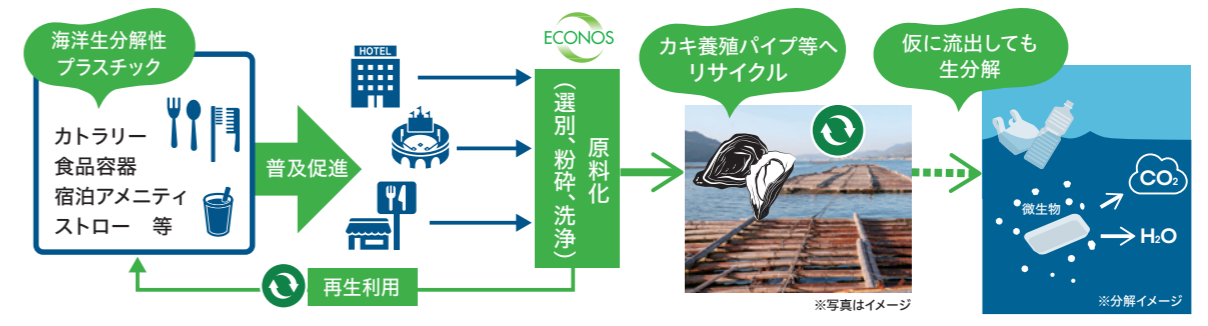
### グリーンカーボン・オフセット

日常生活や経済活動において避けることができないCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせするという考え方です。



### 海洋生分解性プラスチックから製造された使用済みアメニティを回収し、瀬戸内海を守る

近年、プラスチックごみによる海洋汚染が問題視されていることから、環境中に益々増えていく海洋ごみを減らす観点で「海洋生分解性プラスチック」の普及に期待が寄せられています。宿泊施設などのアメニティも海洋生分解性プラスチック製品の普及が進み、その使用済みアメニティを回収し、弊社鶴岡工場で原料化（選別、粉砕、洗浄）を行っています。その後、加工会社でアメニティ製品としての再生利用やカキ養殖パイプなど漁業で使用する材料等へリサイクルできるように検証しています。リサイクルされた製品は、災害などで万が一海洋に流出しても微生物の働きによって、最終的に水と二酸化炭素に完全分解されるため海洋汚染を減らすことに貢献します。

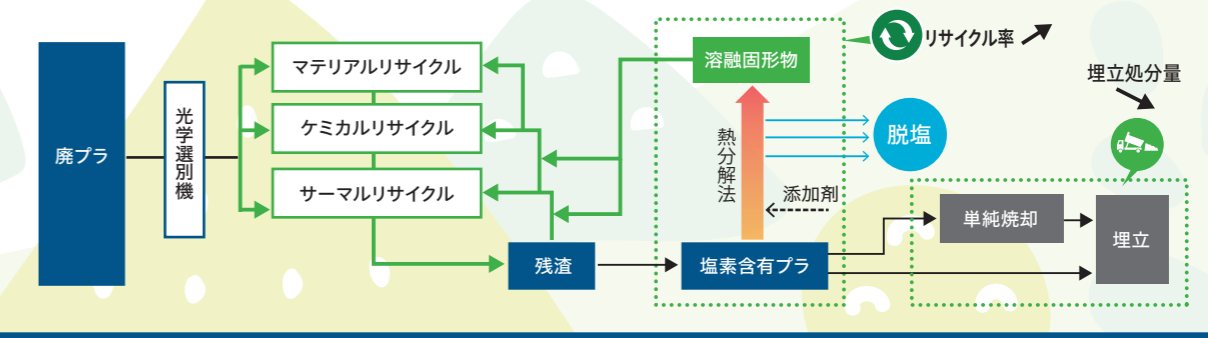


広島県では瀬戸内海に新たに流出するプラスチックごみゼロを目指しています。  
 瀬戸内海に流れ込む海洋プラスチックごみ  
 陸から年間3,000トン + 海から年間1,500トン = 年間4,500トン  
 2050年までに0へ

### TOPICS

#### 廃プラの脱塩技術開発で埋立処分量を削減し、リサイクルの高度化

令和5年度に計画している「廃プラの熱分解法を用いた脱塩技術開発によるリサイクルの高度化事業」が公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団の実施する「産業廃棄物処理助成事業」に採択されました。プラスチック処理の現状として、全国で47万トンが未だ埋立処分されており、更に熱利用をせずに単純焼却されている物を含めると125万トンもの廃プラスチックが未利用のまま処分されています。本高度化事業では、光学選別機で除去された塩素系プラスチック等を、熱分解法を用いて塩素を塩化水素として分離除去し、塩素低減の評価を行います。これまで単純焼却や埋立処分されていた塩素系プラスチックが、塩素低減されることでケミカルリサイクルやサーマルリサイクルへとリサイクルの高度化につながると考えています。







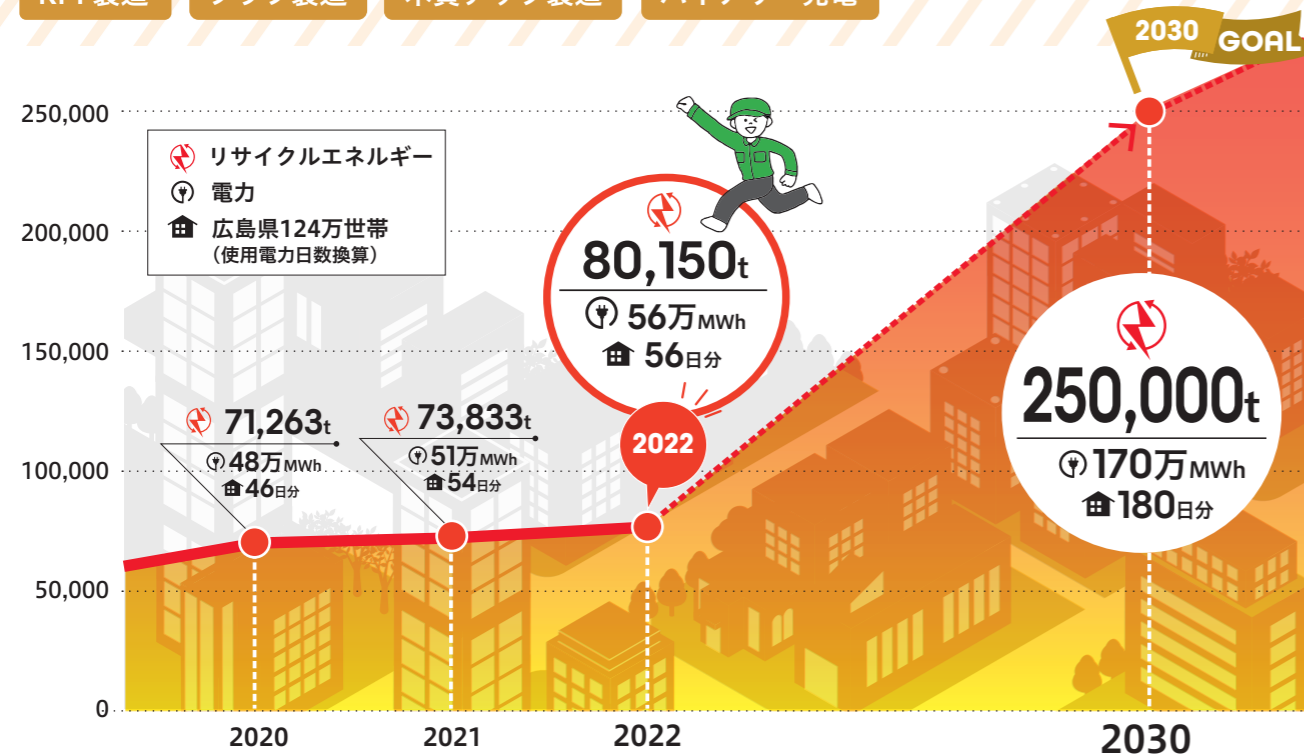
2030 までの目標

RPF

# RPF製造等による環境配慮型非化石エネルギー利用を促進する

リサイクルエネルギー（RPF+フラフ+木質チップ）生産量を250,000tにします。

RPF製造   フラフ製造   木質チップ製造   パイナリー発電



## サーキュラーエコノミー福山 製造フロー



## TOPICS

## RPF固形燃料使用用途が拡大

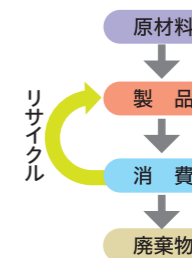


## RPF固形燃料製造の背景

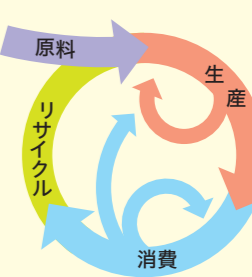
サーキュラーエコノミー（循環型経済）を実現させる上で切り離せない取り組みが廃プラスチックのリサイクルです。

2022年に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（プラ新法）は、日本国内で扱われるプラスチック製品の設計・製造・使用・再利用といったライフサイクルの全プロセスで、資源を循環させるための法律です。この法律によりケミカルリサイクルやマテリアルリサイクルに利用される廃プラの量が増えることが予測されます。またリサイクルに不向きで埋立処分されている塩素含有廃プラの受け皿として、RPFによるサーマルリサイクル（燃料化）が有力な処理方法として考えられます。一方でRPFを扱う上で一番の課題が塩素と言われています。ボイラーの腐食を招く重大な要因であることから塩素濃度に制限が設けられていましたが、脱塩技術の開発や高塩素対応の設備の導入等の見直しが進んでいます。高塩素対応に向けた工夫によりRPFが廃プラスチック利用促進に大きく貢献すると考えられます。

### リサイクリングエコノミー



### サーキュラーエコノミー



プラスチック資源循環促進法の基本原則は「3R+Renewable」です。Reduce（リデュース：ごみを減らす）、Reuse（リユース：繰り返し使う）、Recycle（リサイクル：再利用する）の3つのRにRenewable（リニューアブル：再生可能な資源に替える）を加えた総称のことです。





2030 までの目標

# 環境教育活動



地域・行政・学校等との連携により、  
エコノスSEEDプロジェクトを展開し、  
環境保全を推進する人財の育成に取り組む



**出前授業**  
小学校・中学校で行う出前授業では、先生と相談しながら各学校の授業に沿った内容を提供しています。弊社新入社員の研修の場でもあり、説明の練習をして講師をしています。

**3Rの優先順位**  
3R（リデュース・リユース・リサイクル）の優先順位を考えて、環境を守るために自分たちが取り組めることを考えます。

**川の水質検査**  
身近な川の水質と汚れを入れた場合の水質を調べ、川を守るために自分たちが取り組めることを考えます。調べる水は生徒に準備してもらいますが、トイレの水や花瓶の水を調べる生徒もいます。



**イベント参加**  
ゴミの分別やリサイクル、水環境をテーマに、小さな子どもたちでも分かりやすいように内容や説明を工夫しています。

**こもれびワークショップ**  
(主催：太鼓ユニット我龍)  
廃材を使って楽器を作るイベントにゲストとして参加。「ゴミにしないための工夫」の親子劇では、自分の殻を破って役になりきり子どもたちに伝えました。

**ものづくり実演・体験フェア**  
(主催：備後地域地場産業振興センター)  
エビと水草を入れたアクアリウム制作を行いました。ビンの中の気体と栄養が循環することで、蓋を閉めたままでもエビが生きることができることを説明しました。



**2022 SPTs** (※) 環境保全を推進する地域人財の育成

**環境教育活動**

見る する 考える

**ECONOS SEED PROJECT.**  
Sustainable Environment Education for Development

出前授業数  
2022年度実績 → **29**件  
2022 SPTs → **16**件(※)

環境啓発イベント数  
**5**件  
3件(※)

高校生以下の工場見学件数  
**29**件  
22件(※)

マイスター認定クラス数  
**8**件  
5件(※)

※SPTsとは、環境問題や社会的課題の解決に向けたサステナビリティ活動に関する目標です。(ひろぎんサステナビリティ・リンク・ローン)

**工場見学**  
工場見学では、ゴミをリサイクルするまでの分別の様子を見学したり、パソコンの解体体験を行うことができます。オンラインでの工場中継も行っています。



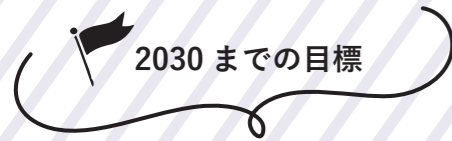
**エコノスSEEDマイスター**  
エコノスSEEDプロジェクト「見る・する・考える」の環境学習に参加し、今後の環境活動目標を設定した個人・団体を「エコノスSEEDマイスター」として認定する制度です。

- ・府中市立府中学園4年生
- ・福山市立常金丸小学校4年生
- ・福山市立御野小学校4年生
- ・尾道市立向島中学校1年生
- ・尾道市立土堂小学校4年生
- ・尾道市立重井小学校3・4年生
- ・広島市立三田小学校5年生
- ・環境省霞が関見学デー参加者



ひろぎんサステナビリティ・リンク・ローン  
弊社は、SDGsを推進していく中で、『環境保全を推進する地域人財の育成』を目的に『エコノスSEEDプロジェクト』を展開しています。この活動において「出前授業実績数」「高校生以下を対象とした工場見学受入件数」「環境啓発イベント実施数」「マイスター認定クラス数」を指標（SPTs）として目標値を設定しています。





# 働き方改革

コンプライアンス整備・ガバナンスの構築をする。  
働きやすい職場環境づくりをする。  
社員が自己実現や社会貢献をする。

社員が『いきがい』を持ち、社会から信頼される『いい会社』へ成長していく。



## 一般事業主行動計画〈2020.4-2025.3〉

### 次世代法

社員（非正規労働者を含む）が、その能力を発揮し、仕事と家庭の両立を図るために必要な雇用環境の整備を行うため、次のような行動計画を策定する。

- 1 家族工場見学の継続による家族間、社員交流の場と環境学習の場を提供する
  - ・社員の子の職場体験（アルバイト受入）
  - ・パパが教えてくれたこども工場見学
  - ・こども霞が関見学デーへ参加（オンライン）
- 2 SDGsの取組みとして、地域、学校、行政と連携した環境教育活動を支援し、「地域の環境を守る人財」を育てるという地域貢献活動を実施する
  - 地域・行政・学校連携の環境学習を通して「環境を守る人材」の育成

### 女性活躍推進法

女性の能力開発やWLBの視点から「働きがい、生きがい」につながる活動、仕組みづくりをより積極的に行う。

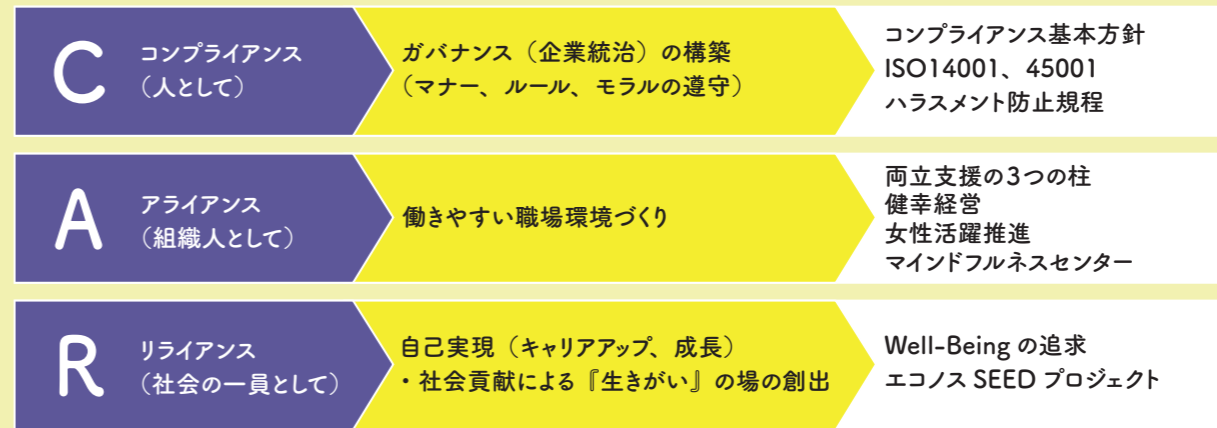
- 1 制度上のコース設定を「職務別コース」から「働き方別コース」にシフトする
  - ・フルコース→1日8時間
  - ・ECO7(セブン)コース→1日7時間
  - ・E・バランスコース週休3日/1日8時間

60歳から 試行中
- 2 役割と評価基準を見直し、(1)個から『組織』へ、シフトする (2)生産性+『成果創造』へシフトする
  - 多様な働き方別コース選定への着手
  - 短時間勤務制度導入
  - チーム制による目標管理・カイゼン
  - プロセス評価の重視・プロジェクト活動の多用

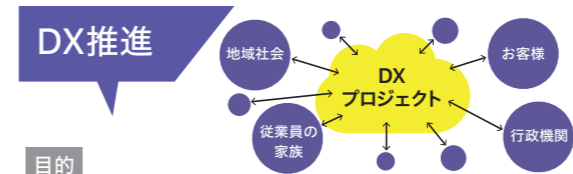
2021/4~
- 3 『対話の場』『能力発揮の場』『選択機会の場』を提供する
  - 制度改定と職務領域拡大による能力発揮・選択機会の場の提供
  - 〈職務数増加 120%、実践率 70%〉

2023/4~

## エコノスCAR

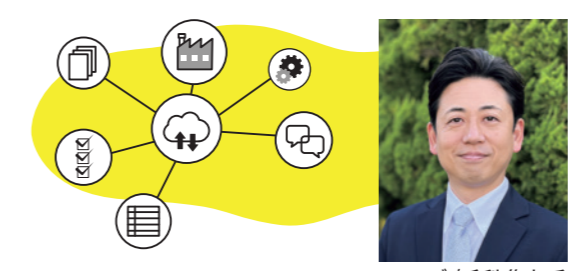


## プロシェアリングを導入しました!



**目的**  
オガワエコノスに係るすべての人からの期待に答えることができる社内体制・システムを構築し運用する。

**活動内容**  
外部のシステムコンサルタントにご協力いただきながら、社内申請書類のデジタル化及びワークフローシステムの運用、ロハス & RPF 事業の基幹システムの更新検討を行っています。



フォアアローズ/毛利 隼人氏



**目的**  
事業成長に合わせた採用の仕組みを構築し、未来に亘り人材確保を成功させ、会社の持続可能性を確実にする。

**活動内容**  
就活生の心に響くような採用活動をするために、月数回のミーティングを行い、会社見学会の案内などを外部の専門家にご指導いただいています。



㈱ IKI&IKI/小口 正史氏

※「プロシェアリング」とは、外部のプロの経験・知見を複数の企業でシェアし、経営課題を解決する新しい人材活用モデルです。





# Well-Being 強化に向けて“チームSTEP”始動!!

New

弊社は「Well-Being (前向きに楽しく心もからだも充実した状態)」の追求を目的として、マインドfulnessセンターの運営を専門家チームにお任せし、社員とその家族の心身の健康を目指した統合的ヘルスケアを強化するべく「チームSTEP」を結成しました。

メンタル不調などさまざまな相談窓口として、3名の異なるカウンセラーが各々に、時に連携してサポートしています。社員だけでなく家族も、直接チームSTEPに相談できる仕組みにしました。

社内外のイベントも企画中です。将来的には、この取組みを『地域メンタルサポート連携システム』に展開していきたいとの夢も共有しています。



チーム STEP

**Pro sharing 苅部 美千代先生**  
 ヨガ・ピラティスのインストラクター  
 心穏やかに保つための体のケアをサポート  
 人間の心と体は切っても切れないもの。心穏やかに保つための体のケアをお伝えします。

**Pro sharing 品川 いくみ先生**  
 保健師  
 出張保健室で健康サポート  
 心と体の健康サポートを行います。お困り事がございましたら、お気軽にご相談ください。

**Pro sharing 光戸 利奈先生**  
 公認心理師・博士・キャリアプランナー  
 カウンセリングのプロ中のプロ  
 キャリアアップ研修など開催  
 病院での心理職や、小・中学校のスクールカウンセラーを経験。心身の悩みや子育てなどの相談などお気軽にお問い合わせください。

## チームSTEP健幸イベント「心地いい体験」

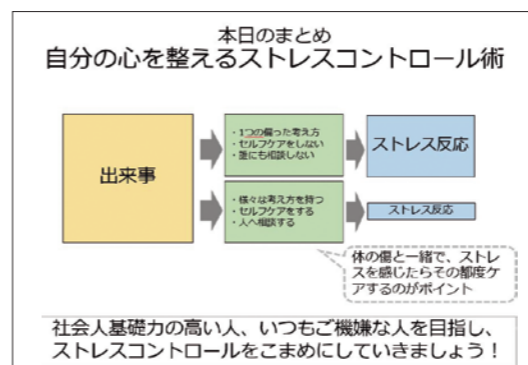
2023年7月、「心もからだも心地いい体験」イベントを開催し、社員や家族22名が参加しました。ヨガや血管年齢測定などで健康に意識を向けていくきっかけになりました。

広島県府中市



## 女性社員向けキャリアデザイン研修

女性社員に向けて、「キャリアデザイン研修」を実施しています。自己理解を深めた上で、目標やありたい姿になるためにどのようなキャリアを築くべきなのかというプロセスやアクションを明確にしていきます。公認心理師と1対1で行うので、子育てや自分の悩みなども安心して相談できます。



キャリアデザイン研修資料より

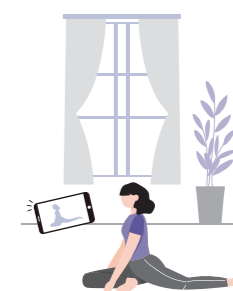
## 自分自身を見つめ直す自己分析

質問に回答するだけで心の専門家(チームSTEP)が自己分析書を作成します。自己分析をすることによって、自分の長所・短所、得意・不得意、価値観といった特徴を客観的に理解することができます。自分自身を見つめ直すことで、より自分の理想に近い生き方や働き方ができます。



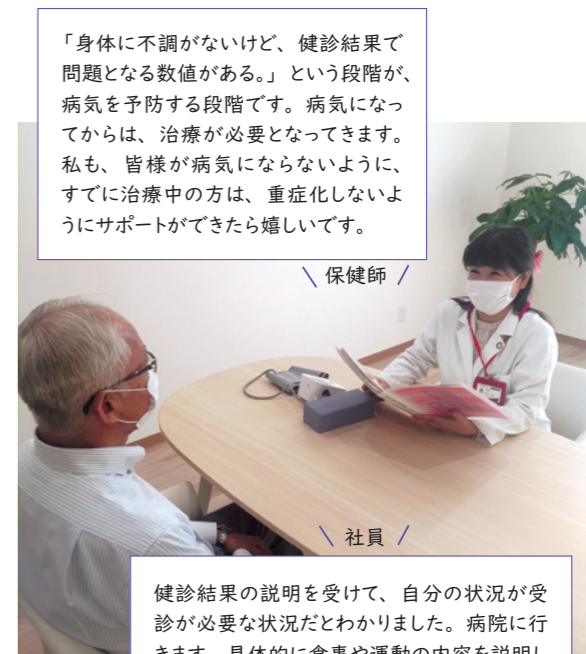
## マインドfulnessセンター過去動画配信

社員専用公式LINE「エコプロLINE」では月1回、苅部先生(チームSTEP)の「ちょこっとエクササイズ」動画を紹介しています。見逃した方に向けて過去動画の配信を開始しました。



## 出張保健室スタート

品川先生(チームSTEP保健師)が社員の健康診断の結果を確認し、健康管理が必要な方へ面談を通してサポートを行います。



「身体に不調がないけど、健診結果で問題となる数値がある。」という段階が、病気を予防する段階です。病気になってからは、治療が必要となってきます。私も、皆様が病気にならないように、すでに治療中の方は、重症化しないようにサポートができたら嬉しいです。

保健師 /

社員 /

健診結果の説明を受けて、自分の状況が受診が必要な状況だとわかりました。病院に行きます。具体的に食事や運動の内容を説明してもらって取り組んでみようと思いました。睡眠不足について、相談できてよかった。



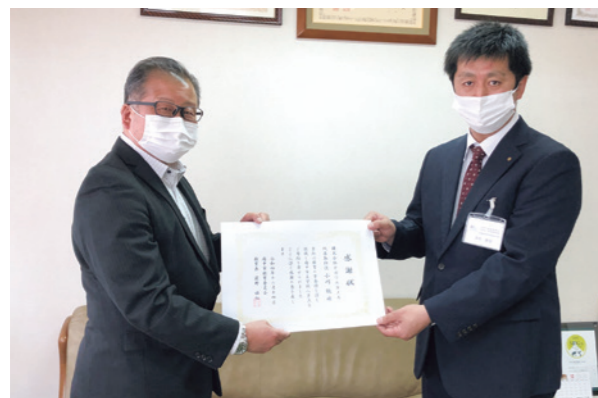
## 寄付

### 寄付による恩返しで子どもたちを支援

#### 府中市教育委員会へ寄付

弊社は昨年より広島県府中市観光協会主催「びんご府中ものづくりツアー」に参画しています。

その謝礼金を寄付し、府中市教育委員会から感謝状をいただきました。今後も子どもたちの学びのサポートを行ってまいります。



#### 岡山県勝央町へ「企業版ふるさと納税」

2023年2月、弊社岡山工場のある岡山県勝央町に、お世話になっている恩返しとして「企業版ふるさと納税」1,000万円の寄付を行い、勝央町水嶋町長より感謝状をいただきました。少子化対策の一環として、町内の保育園の建設（主に遊具購入）に活用されます。



#### 勝央町水嶋町長のコメント

勝央町の企業版ふるさと納税としては、オガワエコノスが第一号になります。新勝央中核工業団地に工場を建設されて18年に亘り、廃棄物リサイクルを中心に地域に貢献していただき感謝します。今後は子どもたちの環境教育の支援にもご尽力いただけることを期待しています。

## 災害支援

### 鳥インフルエンザ発生に伴う緊急対応に協力

2022年12月14日に広島県で発生した鳥インフルエンザの消毒の緊急依頼を広島県から受け、初動対応を行いました。

その後12月16日～2023年4月10日に亘り、給水車延べ53車（158,875リットル）を派遣し消毒用の水を供給いたしました。

今後も災害があった際は、弊社にできる対応を行い、皆さまに安全と安心を提供できるよう努めてまいります。

アキュア事業部



## 障がい者雇用

### 多様な人材が活躍できる職場作り

「誰一人取り残さない」という原則のもと、誰もが働くことの大切さを理解し働く喜びを感じられるよう、多様な人材が活躍できる職場作りに取り組んでいます。そのひとつとして障害者支援施設「大日学園」（広島県府中市）の学園生5名を雇用し障がい者の就労支援を行っています。それぞれの特性に合わせた作業内容を設定し、弊社社員がつき安全に配慮して就業しています。また、広島県立福山北特別支援学校（広島県福山市）の授業の一環として、就業体験を希望する生徒（年間1～3名）の受入れを継続的に行っています。

本山工場



## 安心・安全

### 労働安全衛生の確保は重大な責務

#### 安全運転講習(KYトレーニング)

アキュア事業部と本山工場にて府中警察交通課（広島県府中市）による安全運転講習を行いました。

実際の交通状況を再現した動画を見ながら、危険を感じた場面で手元のボタンを押し、「どのような危険を感じたのか？」などを受講者同士でディスカッションし、運転時の安全を学びました。

アキュア事業部 本山工場



#### 受講者の声

運転中に潜む危険を予測しながら、事故を回避する運転行動を学びました。

#### 地域の清掃活動を継続

毎月1回、本社、各工場にて清掃活動を行っています。

本社・本山工場／22年継続

鶴飼工場／20年継続

福山工場／5年継続

岡山工場／18年継続

仙台工場／17年継続



#### 重機競技大会を実施

2023年1～3月にかけて、重機を扱う事業所において重機競技大会を実施しました。

1人ずつ重機の運転・操作を行い点数をつけ、高成績者を表彰しました。参加者からは「リフトの操作を改めて勉強できた」、「普段、気を抜きがちな部分の再確認ができた」などの感想がありました。今後の業務に活かしていきます。

本山工場 鶴飼工場 福山工場 岡山工場 仙台工場

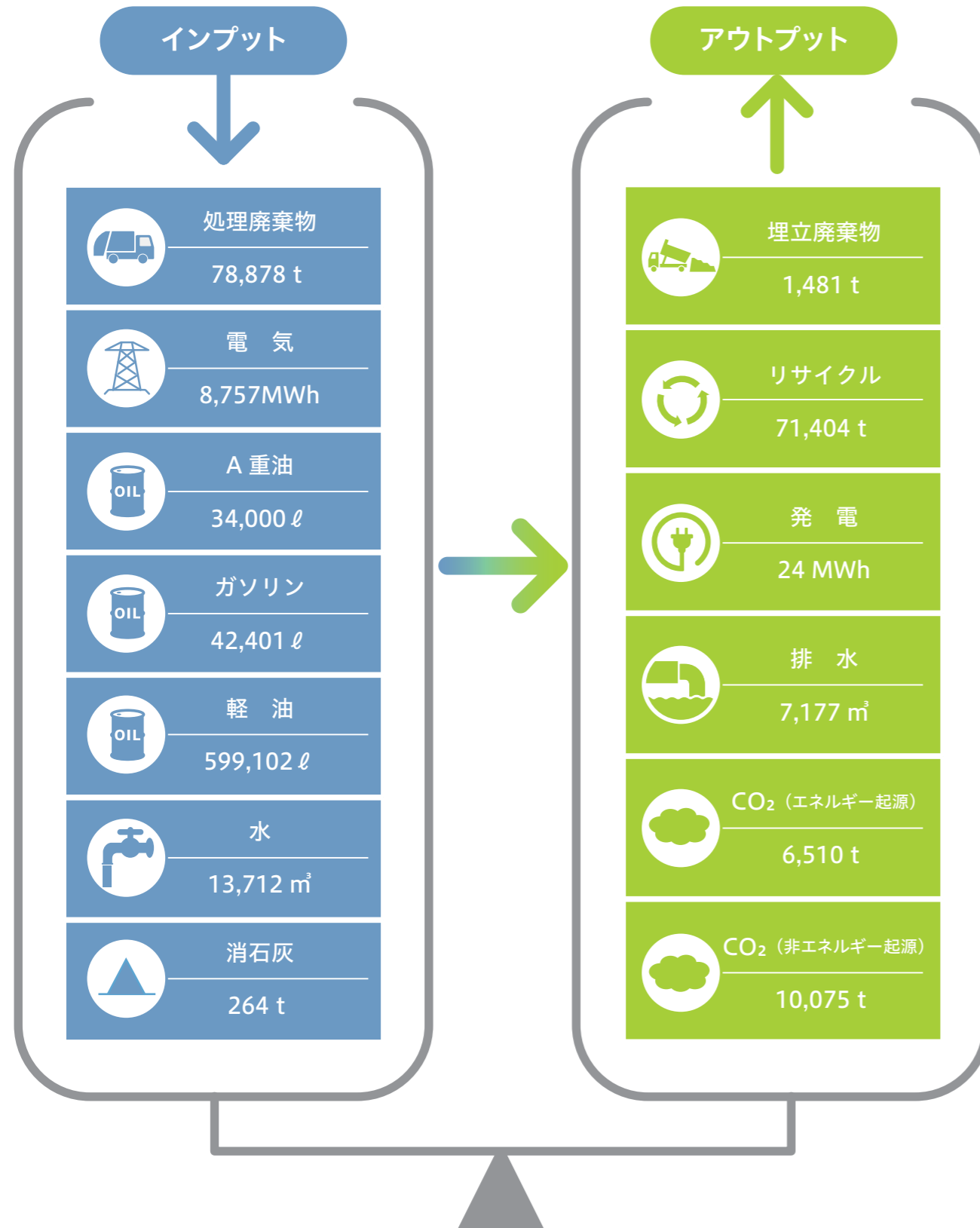


本山工場 鶴飼工場 福山工場 岡山工場 仙台工場 CE 福山



### マテリアルバランス(エネルギー使用含む)

2022年度(2022年4月~2023年3月)



### 環境データ

2022年度(2022年4月~2023年3月)

#### 産業廃棄物のリサイクル率

品目	リサイクル率	品目	リサイクル率
汚泥	18.0%	木くず	99.6%
廃油	0.0%	繊維くず	98.7%
燃えやすい廃油	0.0%	動・植物性残渣	22.3%
pH2.0以下の廃酸	0.0%	動物のふん尿	0.0%
廃酸	0.0%	金属くず	90.4%
pH12.5以上の廃アルカリ	0.0%	ガラス・陶磁器くず	0.0%
廃アルカリ	0.0%	感染性廃棄物	0.0%
廃プラスチック類	92.4%	燃え殻	0.0%
紙くず	99.8%	管理型混合廃棄物	100.0%

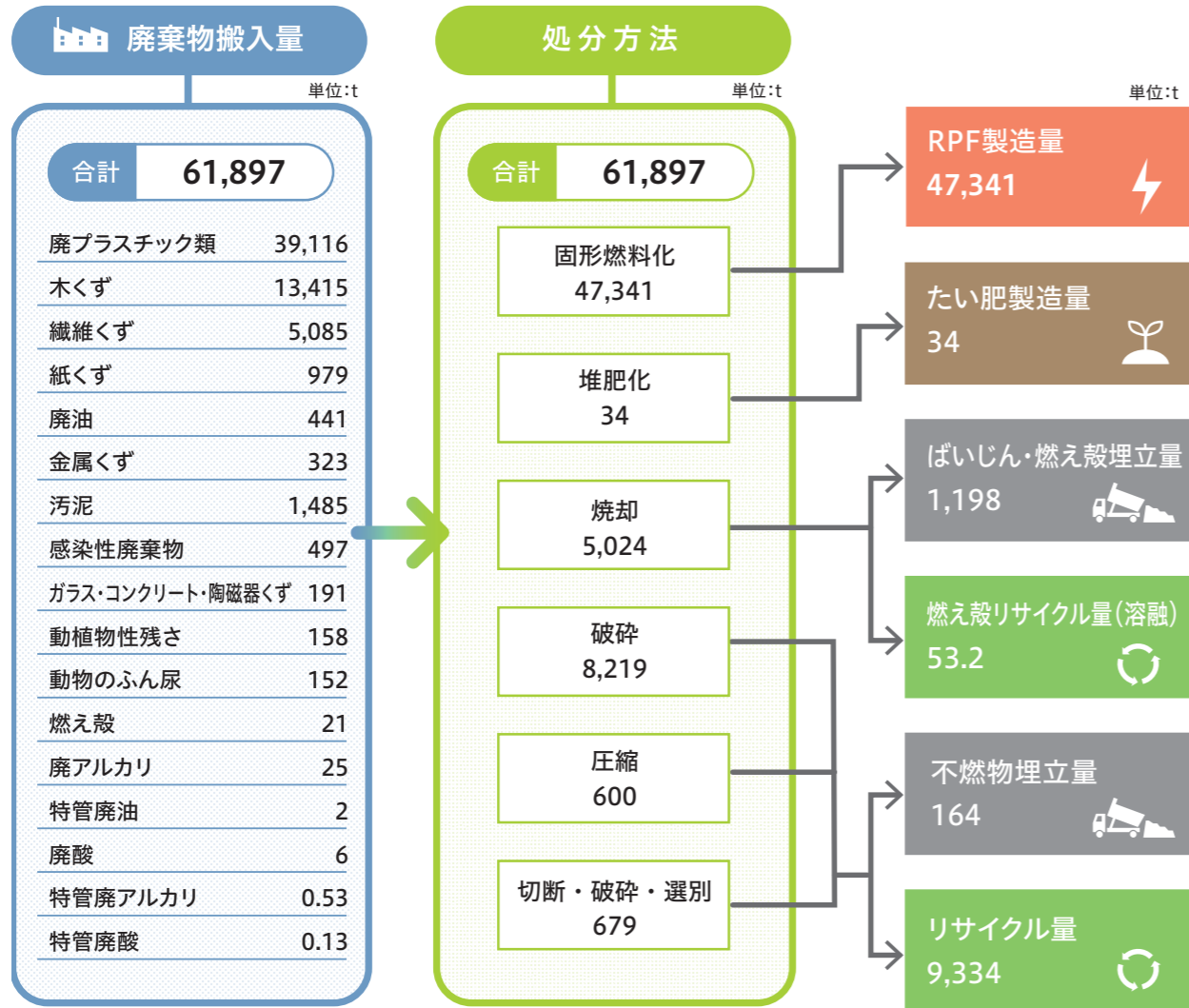
#### 環境測定結果

場所	項目	結果	単位	規制値	測定日	分析機関
焼却炉	ばいじん	不検出	g/m3N	0.15	2022年6月15日	JFE西日本ジーエス(株)
焼却炉	塩化水素	24	mg/m3N	700	2022年6月15日	JFE西日本ジーエス(株)
焼却炉	硫黄酸化物	不検出	m3N/h	17.5(K値)	2022年6月15日	JFE西日本ジーエス(株)
焼却炉	窒素酸化物	85	ppm	250	2022年6月15日	JFE西日本ジーエス(株)
焼却炉	水銀	2.3	μg/m3N	50	2022年6月15日	JFE西日本ジーエス(株)
焼却炉	ダイオキシン	0.63	ng-TEQ/m3N	5	2022年6月16日	JFE西日本ジーエス(株)
本山工場	騒音	63	dB	70	2022年6月17日	JFE西日本ジーエス(株)
本山工場	振動	43	dB	70	2022年6月17日	JFE西日本ジーエス(株)
本山工場	臭気	10未満	臭気指数	10~21	2022年6月1日	JFE西日本ジーエス(株)
福山工場	騒音	61	dB	70	2023年2月17日	JFE西日本ジーエス(株)
福山工場	振動	47	dB	65	2023年2月17日	JFE西日本ジーエス(株)
鶴飼工場	騒音	60	dB	70	2022年6月17日	JFE西日本ジーエス(株)
鶴飼工場	振動	46	dB	70	2022年6月17日	JFE西日本ジーエス(株)
鶴飼工場	臭気	10未満	臭気指数	10~21	2022年6月1日	JFE西日本ジーエス(株)
岡山工場	騒音	57	dB	70	2022年4月20日	西日本環境測定(株)
岡山工場	振動	47	dB	65	2022年4月20日	西日本環境測定(株)
仙台工場	騒音	60	dB	64	2022年7月21日	エヌエス環境(株)
仙台工場	振動	39	dB	60	2022年7月21日	エヌエス環境(株)
本社ピット	BOD	22	mg/L	160	2023年1月5日	(株)日本総合科学
本社ピット	COD	12	mg/L	160	2023年1月5日	(株)日本総合科学
本社ピット	SS	31	mg/L	200	2023年1月5日	(株)日本総合科学
本社ピット	T-N	1.4	mg/L	120	2023年1月5日	(株)日本総合科学
本社ピット	pH	7.5	-	5.0~9.0	2023年1月5日	(株)日本総合科学
本社浄化槽	BOD	4.5	mg/L	20	2023年3月20日	(公社)広島県環境保全センター

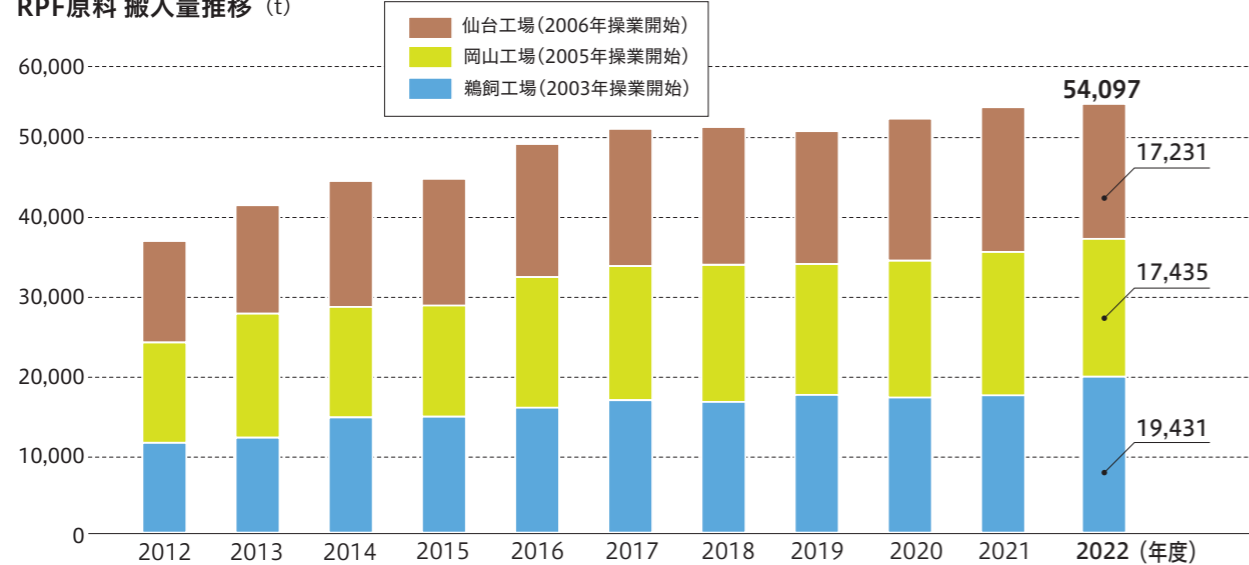


### 産業廃棄物の処分量

2022年度(2022年4月~2023年3月)

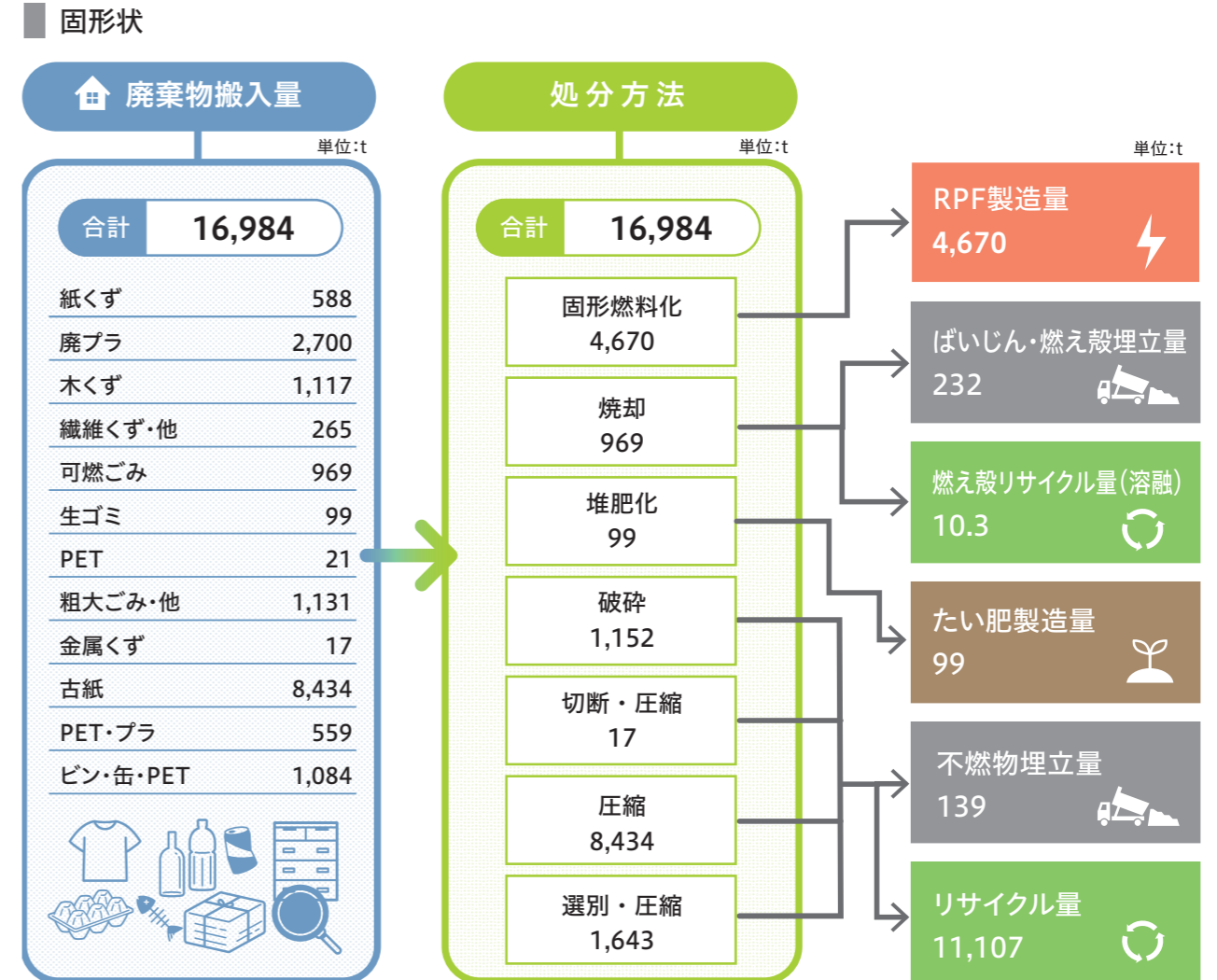


RPF原料 搬入量推移 (t)



### 一般廃棄物の処分量

2022年度(2022年4月~2023年3月)



### 液状

汲み取り (単位m)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
芦田川水系	4,984	4,879	4,694	4,406
江の川水系	732	713	689	650
合計	5,716	5,592	5,383	5,056

浄化槽清掃 (単位m)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
芦田川水系	18,920	19,172	19,417	19,546
江の川水系	2,818	2,869	2,831	2,775
高梁川水系	2,895	2,856	2,863	2,881
合計	24,633	24,897	25,111	25,202

維持管理の委託を受けた浄化槽 下水道施設の基数 (単位m)	設備の能力	維持管理件数
みなし浄化槽	5~10人槽	3,828
	11~50人槽	555
	51~500人槽	43
	501人槽以上	0
合併浄化槽	5~10人槽	5,744
	11~50人槽	221
	51~500人槽	92
下水道		4
合計		10,494





グループ企業

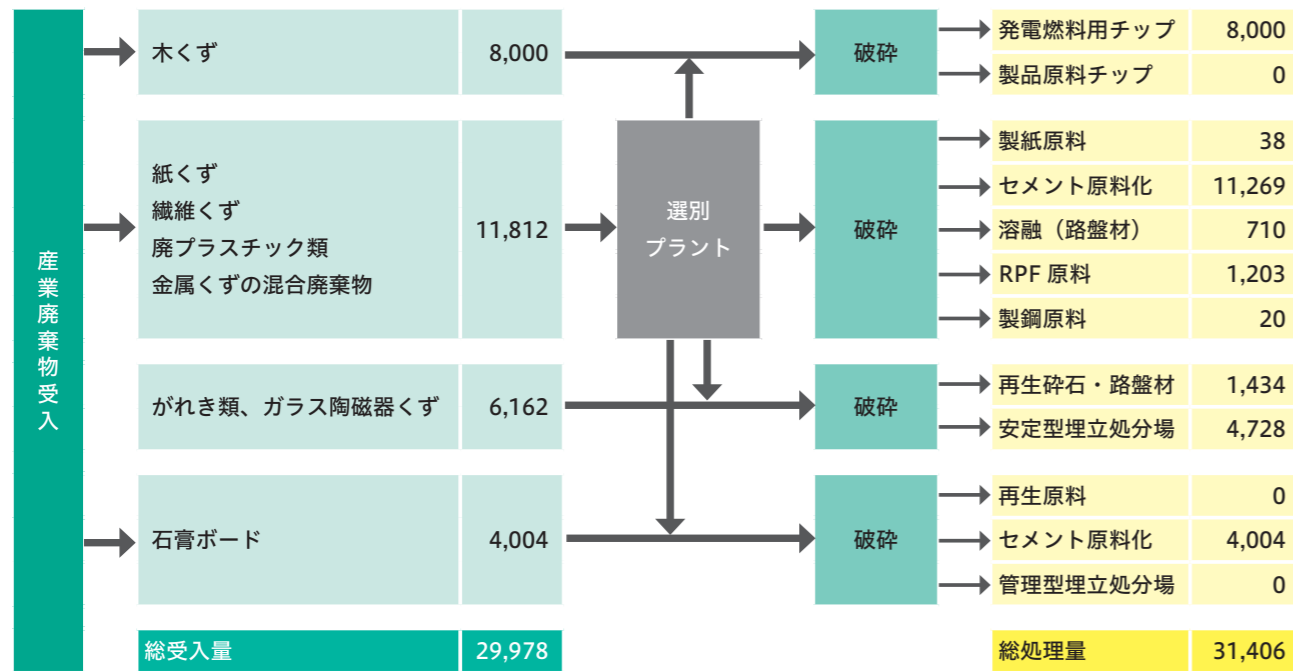
# 有限会社ダイイチ企業

住所／広島県広島市安佐北区白木町三田字小椿 1521-3  
 設立年月日／1987年7月8日  
 従業員数／53名(2023年4月)  
 売上高／1255百万円(2023年3月期)



## 産業廃棄物の一連の処理工程 (2022年度)

単位：t



〈種類別リサイクル率〉	単位：%	〈種類別リサイクル率〉	単位：%
木くず	100	金属くず	100
紙くず	100	がれき類、ガラス陶磁器くず	23
廃プラスチック類	100	廃石膏ボード	100
繊維くず	100		

リサイクル処理	25,249
埋立処理	4,728
総リサイクル率	84%

## 府中市へ「企業版ふるさと納税」

2023年3月、オガワエコノスの本社がある広島県府中市へ「企業版ふるさと納税」で1,000万円を寄付しました。用途は「持続可能な地域社会をつくる事業」で、自主防災組織への活動助成や地域防災力の強化に役立てられます。



### 古着を送って子どもたちを支援！古着 de ワクチン

昨年度に引き続き「古着 de ワクチン」に参加しました。「古着 de ワクチン専用回収キット」を購入し、不要になった衣類を送ることが、開発途上国の子供たちにポリオワクチンを届ける支援につながります。

「専用回収キット」は、全国の福祉作業所で製造し、障がいがある方の仕事が生まれます。送った衣類は世界中で再利用され、さらにカンボジアではポリオによる障がいやストリートチルドレンだった若者の雇用促進につながります。

ゴミを減らすだけではなく、様々な人の役にたつ支援です。これからもこのようなSDGsにつながる取り組みを社員で続けていきます。

「古着 de ワクチン」回収の流れ

- ①国内の福祉作業所で障害のある方が回収キットの梱包や郵送を行う。
- ②購入した回収キットが届いたら洋服、カバンなど入れて送る。
- ③国内の古着 de ワクチンセンターでフィリピンの方を中心に輸出作業を行う。
- ④カンボジアの直営センターで衣類等の選別、販売等を行う。

Tシャツが約100枚入ります

今回の目標は4袋

※専用回収キット1点につき、ポリオワクチン5人分の寄付につながります。

## “イッチー、イチコ”ラッピングバス走る！

以前から走る弊社フルラッピングバスがさらにパワーアップしました。広電バス12号線「戸坂東浄～八丁堀経由仁保沖町」を走るバスです。ダイイチ企業のマスコットキャラクター「イッチー・イチコ」も大活躍。



おなじみのグリーンの入ったデザイン！







1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020

日本の歴史

高度経済成長

四大公害

四大公害

オイルショック

オイルショック

バブル景気

バブル景気

バブル崩壊

阪神・淡路大震災

情報化社会

リーマンショック

東日本大震災

東日本大震災

コロナ流行

コロナ流行

トイレ・ゴミの歴史

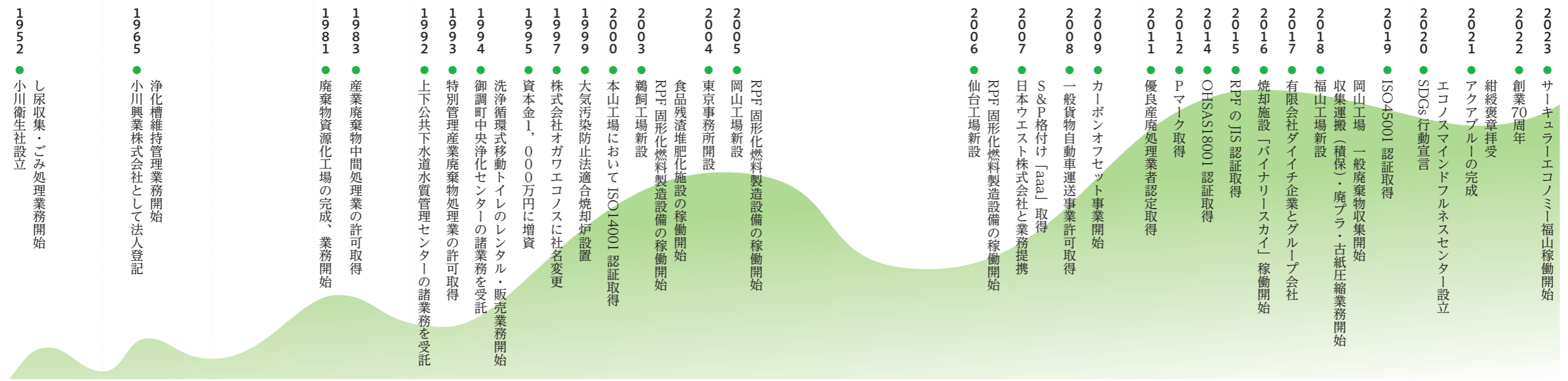
和式トイレから洋式トイレへ  
大量消費社会に伴うゴミの増加・公害問題

ウォシュレット発売  
各種リサイクル法制定

節水トイレ発売  
循環型社会の構築

快適なパブリックトイレ  
SDGsの推進

オガワエコノスの歴史



オガワエコノスの概要

社名／株式会社オガワエコノス  
 代表取締役／小川 勲  
 設立／1952年3月15日  
 (法人登記) 1965年4月1日  
 資本金／1,000万円  
 従業員／251名(2023年4月1日)

- 営業種目
1. 家庭系、事業系廃棄物の収集運搬及び処理・再生に関する事業
  2. 污水处理施設及びごみ処理施設等の維持管理業務
  3. 浄化槽の維持管理及び清掃に関する事業
  4. 管洗浄及び下水、排水等各種ピットの清掃に関する事業
  5. ビル等建築物の清掃及び管理業務
  6. 污水及びごみ処理設備機器のレンタル、販売及び施工業務
  7. 固形燃料製造及び販売
  8. 肥料・飼料の研究開発、製造及び販売
  9. 一般貨物自動車運送事業
  10. 労働者派遣事業
  11. 農作業の代行、請負及び受託
  12. 農産物、農畜産加工品の生産、貯蔵、運搬及び販売
  13. 前各号の仲介及びコンサルタント業務
  14. 前各号に附帯関連する一切の業務

〈売上高推移〉

2018年度／3,462百万円  
 2019年度／3,704百万円  
 2020年度／3,775百万円  
 2021年度／4,064百万円  
 2022年度／4,437百万円

〈S&P格付け〉

2018年度／aa  
 2019年度／aa  
 2020年度／a  
 2021年度／aa  
 2022年度／aa

〈取引銀行〉

みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、商工中金、広島銀行  
 もみじ銀行、中国銀行、両備信用組合、ゆうちょ銀行

〈主要取引先〉

福山市、府中市、尾道市、三次市、庄原市、神石高原町、広島県立高校  
 公共機関、リョービ(株)、王子製紙(株)、日本製紙(株)  
 クリナップ(株) 他多数

〈加盟団体〉

府中商工会議所、日本RPF工業会、広島県環境整備事業協同組合  
 広島県清掃事業連合会、広島県資源循環協会、岡山県産業資源循環協会  
 宮城県産業資源循環協会、東京都産業資源循環協会、日本経済団体連合会